

# 新人です！ よろしくお願ひします！

水圏環境部 川口 修

私は、学生時代に「かき養殖場底質への有機物負荷削減方策」、「有明海におけるノリ不作の原因」、「海域の生産性と低次生産構造」といった、水産物の養殖についての現場の問題を解決するための研究や、生態系メカニズムの解析といった基礎研究に携わってきました。研究をする中で、様々な県の試験場などの方々にお世話になり、それぞれの研究機関が持っている技術やデータがどんなに重要で役に立っているかを体験してきました。そのため、学生だった私は、将来こういった研究所に就職し、水産の最前線で活躍したいと思っていました。今年、念願かなってこの水産海洋技術センターへ配属になり、今は希望や責任感でいっぱいです。

現在、私の主な業務は、月に何度か海洋環境の観測を行い、観測結果の報告などを行うことです。赤潮などが起こったときには、これらの観測データを基に赤潮注意報や警報が発令されます。今年の5月にはシャットネラ・ベルキュローサとグローボサによる赤潮

注意報・警報が県東部で発令されました。これを知った魚類養殖業者が赤潮に対する準備を始めたという報告を受けたときは、自分の仕事が漁業被害を小さくくいとめ

ることができるという可能性を実感できました。しかし一方で、赤潮に対する決定的な対処療法的技術は無く、現在のところ養殖魚に対しては餌止めなど一部対処方法があるものの、一度発生してしまうと漁業被害が出るか出ないかは神頼みの部分が大きいのが現実です。そのため、漁業者の方々に赤潮対策の説明等を行うときは、早く有効な対処技術を開発せねばとの使命感を強く感じます。

私に課せられた課題は山積みです。これらを解決していくことは、どれもみな非常に困難なのだろうと思いますが、漁業者の方々、県民の皆様のお役に立てるよう、今後精進していきたいと考えています。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



行事のお知らせ

## 第2回 水産海洋技術センター 一般公開

今年も県民の皆さまに身近な研究機関を目指して、センター内の一般公開を開催します。

日時：平成18年11月12日（日）9：30～15：30

（隣接する大浦崎公園で「音戸フェスティバル」同時開催）

場所：広島県立水産海洋技術センター

〒737-1207 呉市音戸町波多見6丁目21-1

内容：魚の名前当てクイズ・タッチプール・研究内容の紹介  
研究施設の見学・魚の餌やり体験・ゲーム・などなど・

アクセス：《公共交通機関》JR呉駅から呉市営バス

（倉橋方面「本浦」「鹿老渡」行き）40分

「水産海洋技術センター入口」下車。徒歩10分。

《自家用車》音戸フェスティバルの駐車場をご利用ください。

